

University of Sydney Mona Vale Hospital での実習を終えて

M3 Female

私は Elective Clerkship 期間のうち 4 週間をシドニー大学の教育病院の一つである Mona Vale Hospital の Orthopaedic Department で実習を行いました。

1. 実習までの準備

- 実習にあたり必要となった事務的な準備

私は他の国でのエレクティブを最初は考えていたため、他の人に比べ申込が遅く、10 月ごろ申込みました。シドニー大学のホームページ

(<http://sydney.edu.au/medicine/northern/electives/index.php>) 上の案内に従って申し込みました。

私が申し込もうとした時点では、埋まっている科が多かったので、シドニーでの実習を考えている人は、早めの申込がいいと思います。

私は、クリニカルクラークシップで整形外科を回る機会がなかったので、オーストラリアは日本同様高齢社会ということもあり、高齢社会における整形外科を見てみたいと、整形外科にしました。

保険の証明 (MIP で無料で取得しました)・IELTS の結果 (TOEFL でも大丈夫でした)・推薦状・アプリケーションフォームを担当者にメールし、2 週間後に受け入れ先決定のメールが来ました。

その後 100 ドルをネット上で支払い、警察庁でもらった Criminal Record Check (CRC) (2 週間くらいかかった気がします) と National Police Certificate (NPC)を郵送しました。

それと同時に、私の病院は病院の寮があるとのことだったので、

<http://sydney.edu.au/medicine/northern/electives/accommodation.php> から、寮の申込を行いました。

- 実習にむけて個人的に行ったこと

英語での診察を行うこととなるので、『キク単メディカル』で医学英語の単語を勉強したり、『USMLE step2 CS』や『やさしい英語で外来診察』で友達と診察の練習を行ったりしました。また、私は整形外科だったので、USMLE step1 の整形外科の章を解きました。

2. Mona Vale Hospital での実習

- Mona Vale Hosoiital とは

Sydney の街からバスで約 1 時間半の、別荘地 Mona Vale にあります。



目の前が海、隣はゴルフ場という自然豊かな土地です。病院の前の海には9月になるとクジラが来るそうで、病院の窓から見えるそうです。メインの建物は6階建てで、その他に出来たばかりのリハビリセンター、小児ケア・歯科、精神科、チャペルなどの建物があります。オーストラリアは移民が多いからか、スタッフ・患者さんのナショナルリティーも様々で、中には英語があまり得意ではない患者さんもいました。



Mona Vale Hospital の病室。目の前が海でとても眺めがいいです！

私の実習した Orthopaedic Department は5階にあり、Surgery と同じ病棟にありました。

NSW という地域の公立病院うちの一つで、シドニー大学の教育病院の一つとなっているため、常時数名のシドニー大学の学生が実習をしています。NSW の公立病院は、他にメインの Royal North Shore Hospital、Manly Hospital、Hondsbury Hospital などがあり、1年目の Intern、2年目の Resident は約3ヶ月おきに違う病院・科で研修をするそうです。その上は Registrar（整形外科の場合は3～7年目）で、彼らは6ヶ月ごとにシドニー全体の病院を移動しながら専門科の修行を積み、その

後 Specialist になるそうです。Specialist は自分の Clinic（外来）を持ち、外科系の場合はいくつかの病院と契約をして手術を行うと聞きました。

Mona Vale Hospital は決して新しい訳でも大きい訳でもないですが、医師とコメディカルの距離がとても近く、和気あいあいとしていてとても雰囲気の良い病院でした。

● Orthopaedic Department での実習

整形外科は形成外科と一緒にっており、Intern が2人、Registrar が2人、Specialist が9人いました。病棟は基本的に Intern(シフト制のため1人)が Registrar のサポートを受けながら管理しており、手術は日替わりで来る Specialist+Registrar で行っていました。

私の実習期間は1週目が Intern の開始の時、オリエンテーションの1週間と重なったため、前の期間の Intern から新しい Intern に教えるのを一緒に聞けてあっという間になじむことができたのでよかったです。私以外に整形外科で実習をしている学生はいなかったため、「君のしたいことをしていいよ」と言われました。

毎朝7時半に回診があり、私はバイタルを確認して報告する役割をやらせてもらいました。回診のあとは回診で気になった患者さんと話して History Taking をしたり、ラインを取ったり、Intern

の仕事を見学しました。病棟では術後患者さんの疼痛・感染コントロールをメインとして行っていました。午後は手術に行くことが多く、手洗いをさせてもらい第2・3助手をさせてもらいました。疾患としては骨折が多く、膝関節・股関節・肩関節の置換術や前十字靭帯の手術、足底骨癒合の手術など幅広い手術を見学することができ、少しお手伝いをさせてもらうこともできました。カルテ・チャートが手書きのため、最初は文字がなかなか読めず苦労しましたが、看護師さんもみなさん名前を覚えてくださり、とてもサポータティブだったのでやりやすかったです。



お世話になったインターンのみなさんと

● Acute Care of the Elderly Department

70歳以上の外科の患者さんの内科的面や社会的な面をサポートする科で、月・水・金に回診があり、私も参加していました。オーストラリアは日本の次に長寿の国だそうで、患者さんも70歳以上の人が過半数を占めています。薬の副作用・doseなどの考え方から、ADLの評価まで Dr.Gillespie が回診をしながらレクチャーしてくださり、とても勉強になりました。ACEにはシドニー大学の学生が1人回っており、その子が患者さんを当ててもらってプレゼンをするというので、私も患者さんをあててもらい、レポートを書き発表させてもらいました。



ACEでの発表のあとに、Dr.Gillespieとシドニー大学の学生と

- Teaching/Lecture

金曜日は Royal North Shore Hospital でシドニー大学の学生向けの講義に参加することができました。RNSH の先生の講義や、学生が実習で出会った患者さんに関する疑問を素材に論文を調べ、EBM に基づき考えたものを発表する EBM のプレゼンを聴講しました。

木曜日には NSW の研修医向けの Teaching があり、そちらにも参加しまし



研修医のセミナー



Royal North Shore Hospital で毎週金曜日に行われた、シドニー大学の学生による発表

3. その他

- 宿泊先



Mona Vale Hospital の寮。一泊約 10 ドルと安かったです。

他の病院と違い近くにホームステイ先がないこと、交通の便がよくないことから、病院の職員寮に泊まりました。職員寮は病院の敷地内にあり、お昼にご飯を作り帰れる近さでした。最寄りのスーパーまでは歩いて片道 20 分（バス 3 駅）だったので買い物は大変でした…。部屋は机とベッドとクローゼットがあるだけの簡易なもので、キッチン・ダイニング・シャワー・トイレは共用（男女共用）でした。寮に住んでいる人は学生は私だけで、医者やナース、理学療法士、病院で働くエンジニアなど様々でした。私は共用キッチンでご飯を作っているうちに知り合いが何人かでき、休日や放課後に観光に連れて行ってもらったり、一緒に遊んだりすることもできました。

- 放課後・休日

8 時くらいまで外が明るかったので、放課後も楽しむことができました。特に病院の目の前がビーチだったので、放課後シャワーを浴びる感覚で海に行ったり、浜辺でヨガをしたり満喫することができました。毎週水曜日は NSW の病院で Elective をしている学生との交流会『Social Night』があり、私も参加しました。その他に Intern 交代のパーティーに研修医さんと一緒に行ったり、オペラを見たり、カフェに行ったり（オーストラリアはコーヒーがとてもおいしいです！）もしました。休日には NSW の他の病院で実習をしている東大の友達とブルーマウンテンを観光したり、知人の家でバーベキューをしたり、寮の友達に動物園やウロンゴンにドライブに連れて行ってもらうたりと、とても充実していました。

勉強したい時は、真ん中に大きな庭がある近所の図書館や 24 時間 OPEN の病院の図書館に行っていました。

● おわりに

Mona Vale Hospital は、Sydney 大学の系列病院の中では、一番田舎で小さな病院のため、東大の先輩でいままで行ったことある先輩はあまりいませんでしたが、「海外の病院や街・生活になじむ」という点では本当に恵まれている環境でした。医学のことを学ぶという以上に、海外の医者のあり方、特にオーストラリアには（お給料がいいので）いろんな国から医者が集まっており、いろんな国の医療事情・医者事情を知ることが出来たのは、この実習を通してではなくてはなかなか得られないことだったな、と思います。このような貴重な経験ができたのも、丸山先生をはじめ国際交流室を皆様のお陰です。ありがとうございました。